

平成 27 年度第 1 回ネットワーク化会議記録

日 時	平成 27 年 8 月 30 日 (日) 10:00 ~ 12:00
場 所	すみだりバーサイドギャラリー
参加者	子育て支援団体及び区内児童福祉施設等の職員 32 名
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て活動をしている中での悩みや問題点の話し合い (ワールドカフェ方式) ・次回以降の活動予定の検討 ・その他

1 「こんな会議にしたい！」前回 (H27.2.8) の出席者の意見

- ・たくさんの情報交換 (イベントなど)
- ・定期的な意見交換
- ・協力し合える関係性
- ・墨田区の子育て力を全国に発信したい。
- ・単に情報交換の場におわらず、つながりが広がっていくことを願う。
- ・このチームで出たアイデアを、区内各地で小さなグループが実践できるようになると良い。
- ・連絡網がほしい。

2 ワールドカフェ方式での発表

【テーマ：子育て活動をしていく中での悩みや問題を話し合しましょう！】

A グループ

- ・施設の PR が難しい。アウトリーチとしての課題もある。IT 的な媒体と口コミ (人的) で PR し、広げていきたい。
- ・父親の育児参加、イクメン、情報過多になってきてしまっている。自分らしい育児をしていくうえで、大切なことは何か。仲間づくり、地域レベルでの共有が必要。
- ・施設がキレイだと良いが、トイレが汚いと利用したくない。施設整備してあると区民の方が行きやすい。

B グループ

- ・地域の力は墨田区は強い。もともとの墨田区民と新しく墨田区民となった方をつなげる。関係機関、町会、核家族等をつなげるような情報として、子育て支援したい人とされたい人のマッチングを、区報、HP、口コミ等を利用して行う。保育園やひろばでの口コミが必要となる。
- ・情報が入らない人に、どうアプローチするか、どのような地域の力を使うか。

C グループ

- ・男性の育児休業取得や病気中の保育等、安心して子育てできる保育環境をつくる。
- ・先に地域で子育てしている方の情報 (例えば児童虐待等) があれば、広い目で見守ることができる。
- ・自宅にいる元気な高齢者の活用、地域の子育て力を向上させる。
- ・自分達の力 (子育て団体等) では限界もあり、行政の横の連携が必要と考える。地域とのつながりも重要となる。

D グループ

- ・地域のつながりとしては、悩んでいる人がいる一方で、強みを持っているグループもある。
- ・町内会へのアプローチの 1 つとして、町会婦人会と一緒にイベントをしているグループもいる。
- ・パパコミュニティを活用したパパへの支援をしているグループもある。
- ・グループの例： ソラパパプロジェクト
NPO 法人 燃えない壊れないまち・すみだ支援隊 (ひきふね寄合い処ふじのきさん家)
みどりコミュニティセンター
- ・「区外から見た墨田区はすごい。」と思われるような、子育ての強みがあるグループと各々をつなげることが大切である。

E グループ

- ・区民の方は出生した時に、行政から色々なサービスや施設を紹介した冊子等をよく読んでほしい。
- ・今の若い方の子育ては、昔の子育てと違う。さらに、10年後の子育てはもっと違ってくる。
- ・高齢化率がさらに高まり、元気な高齢者の活用をしてほしい。人が足りない場合は、高齢者にも声掛けをしてほしい。

F グループ

- ・地域社会のつながりの要である町会が疲弊しているようで、アプローチしてもなかなか動いてくれない。
- ・児童主任委員の職として守秘義務があるが、それが壁となり町会との情報共有ができない。
- ・子ども達の中での縦（上下関係）のつながりの希薄さも伺える。他学年との遊びの場もない。また、同年代の子同士の関わりもどう作っていくのか、子ども達の中での不安もある。

3 その他

(1) 次回以降の活動予定の検討

- ・他の子育て団体の見学や有識者による講演会等の案があったが、具体的には次回（第2回ネットワーク化会議）の会議で内容を決めていくこととする。

(2) ネットワーク化会議の名称

- ・8個の案が出て多数決とし、「すみだ子育てつなごーれ」を仮称とした。次回の会議で再度確認し、決定することとした。

第1位 すみだ子育てつなごーれ

第2位 子育て虹色ネットワーク

第3位 すみだ虹色ツナごーれ

(3) 新たな情報ツール「フェイスブック」

- ・本会議の公式フェイスブックについては、もう少し協議が必要なため、フェイスブックができる団体等については、個人的に実施する。なお、メーリングリストはそのままの運用とする。